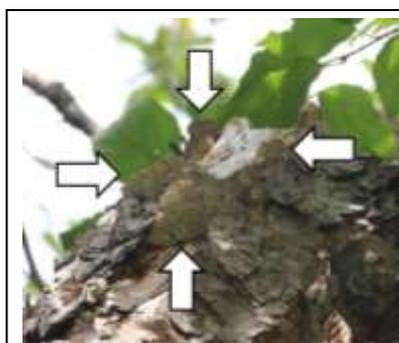


今号では、平成30年4月から11月に生育調査を実施した「ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木」、「オニヒョウタンボク成木」、平成30年8月から10月に生育調査を実施した建設地周辺に生息する希少種「ナガミノツルキケマン」、「キクタニギク」、「ヌマガヤツリ」、「ミズオオバコ」について報告します。

1 ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木の生育調査結果について

(1) 成木について

樹木の内部を腐食させるキノコの再発生が8月に確認され、枝の枯れも確認しました。今後はキノコの増殖及び枝の枯れの進行等を注意深く観察しながら、状況に応じ腐食部の伐採等といった適切な生育管理を実施していきます。



発生したキノコ (H30. 9. 7 撮影)



成木の様子 (H30. 11. 7 撮影)

(2) 現場移植幼木について

3個体とも順調に成長し、移植時には21~27cmだった樹高が約40~50cmにまで成長しました。

9月にシカと思われる食害の跡を確認したため、10月に食害を防ぐためネットを設置し、11月の生育調査で食害は確認されませんでした。



防獣ネット設置 (H30. 10. 23 撮影)



幼木の様子 (H30. 11. 7 撮影)

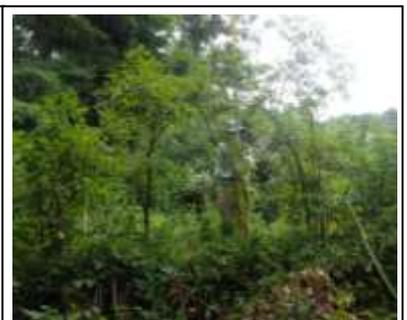
2 オニヒョウタンボク(成木)の生育調査結果について

5月及び9月に生育調査を実施しました。

一部の個体でカビ・枯れが認められたものの、5月及び9月どちらの生育調査でも8本全てにおいて旺盛な樹勢が確認できました。



発生したカビ (H30. 9. 7 撮影)



成木の様子 (H30. 9. 7 撮影)

3 ミズオオバコの生育調査結果について

工事による排水温度の影響を確認するため、8月に生育調査を実施し、73個体の生育が確認できました。

確認されたミズオオバコは元気に生育しており、排水温度の影響は見られませんでした。



開花したミズオオバコ (H30. 8. 23)

4 ナガミノツルキケマン・キクタニギク・ヌマガヤツリの生育調査結果について

全ての種の生育が確認でき、工事による影響（粉じんの付着）は見られませんでした。

今までの生育確認時に新たに発見された希少種「ノジトラノオ」、「イヌハギ」についても生育が確認できました。

調査対象種	生育調査月	確認個体数
ナガミノツルキケマン	8月	22個体
キクタニギク	10月	約20個体
ヌマガヤツリ	9月	119個体
ノジトラノオ	8月	2個体
イヌハギ	8月	20個体以上



ナガミノツルキケマン (H30. 8. 8 撮影)



キクタニギク (H30. 10. 23 撮影)



ヌマガヤツリ (H30. 9. 7 撮影)



ノジトラノオ (H30. 8. 8 撮影)



イヌハギ (H30. 8. 7 撮影)

5 次号（3月）の内容

- ◆建設工事に伴う環境保全措置の実施状況
- ◆生活環境（大気質、騒音、振動等）に対する事後調査結果 について予定しています。